

# 柏市立柏病院整備基本方針(概要版)

## <新病院のビジョン>

～専門病院等との連携の中で機能する～  
**小児二次救急を柱に  
 最新の標準治療を  
 確実にける病院**



## 1 経営戦略

### 1 取り組むべき戦略

【テーマ1】入院が必要な市民への貢献度を高める  
 <アクションプラン1> 診療機能の拡充  
 <アクションプラン2> 地域連携の促進  
 <アクションプラン3> 分院設置の検討

【テーマ2】入院が必要な小児救急患者を受け入れ可能にする  
 <アクションプラン1> 小児科医の確保  
 <アクションプラン2> 安心して子どもが入院できる小児病床の整備

【テーマ3】病院を建て替える  
 <アクションプラン1> 患者と職員にとって魅力ある環境の病院づくり  
 <アクションプラン2> 地域医療の課題に対応できる機能的な病院づくり  
 <アクションプラン3> 経済性に配慮した病院づくり

### 2 中・長期的経営戦略

【テーマ1】総合内科的な機能を果たす外来を設置し、他科の外来負担を減らす  
 【テーマ2】病棟業務への傾注度合いを高めることで、職員のモチベーションも高める  
 【テーマ3】病床利用率を高めるために、まずは実績づくりを大事にし、その先に専門性を発揮できる患者の増加を期待する  
 【テーマ4】外来偏重の薬剤部門業務のあり方を検討する  
 【テーマ5】予防医療への取組み実績を増やす

## 2 整備基本計画

- 1 基本的な考え方
  - 医師等にも魅力ある新病院の実現
  - 病床規模は最大240床
  - 診療科目は現行の15科目とし新たな科目の設置も検討

### 2 候補地の概要、留意事項

以下の2箇所を候補地とする。

#### 【候補地1】現地

場所: 柏市布施1-3ほか  
 敷地面積: 約40,000㎡  
 地形: 平地 (一部高低差あり)  
 地権者: 柏市  
 特記事項:  
 市街化調整区域  
 同一敷地内に介護老人保健施設  
 敷地内移転方式を想定



#### <留意事項>

- ①敷地利用の工夫
- ②小児科医確保に向けた取組み

#### 【候補地2】柏北部中央地区

場所: 柏市正連寺  
 敷地面積: 約15,000㎡  
 地形: 平地  
 地権者: 千葉県(区画整理事業者)  
 取得金額見込み(概算見込み): 約24億円  
 特記事項:  
 柏の葉国際キャンパスタウン構想に位置づけ



#### <留意事項>

- ①現利用者への配慮
- ②新たな財源の確保や経費縮減への努力
- ③現地の利用の検討

### 3 想定される整備スケジュール

| (年度)    | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|---------|----|----|----|----|----|
| 基本設計    | →  |    |    |    |    |
| 実施設計    |    | →  |    |    |    |
| 用地取得(※) |    |    | →  |    |    |
| 工事      |    |    |    | →  |    |
| 引越し他    |    |    |    |    | →  |

※は【候補地2】の場合、地質調査は設計に含む。

31年度  
開院

## 3 資金計画

### 1 見込み費用及び財源

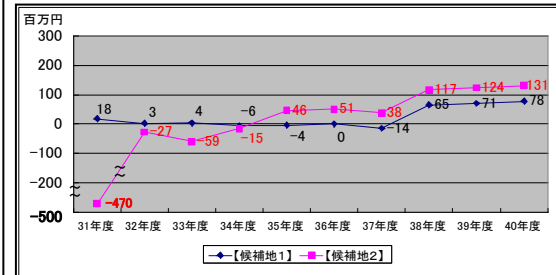
#### 【候補地1】現地

- ①想定される事業費 約111.4億円
  - ・土地、建物などに係る経費 約96.3億円
  - ・医療機器等に係る費用 約15.1億円
- ②財源見込み
  - ・自己資金 約20億円
  - ・病院事業債 約75億円
  - ・その他補助金等(想定)

#### 【候補地2】柏北部中央地区

- ①想定される事業費 約130.6億円
  - ・土地、建物などに係る経費 約115.5億円
  - ・医療機器等に係る費用 約15.1億円
- ②財源見込み
  - ・自己資金 約20億円
  - ・病院事業債 約95億円
  - ・その他補助金等(想定)

### 2 収支計画(新病院開院後10年間の損益の推移)



### 3 考察

事業費の想定では、【現地】は【柏北部中央地区】と比べ、約20億円の借入額抑制が期待できる。  
 病院経営の見通しでは、【現地】は平成37年度まではほぼ収支均衡であり、【柏北部中央地区】では、31年度は移転の影響等で約5億円の赤字だが、38年度以降は毎年約1億円の黒字の見込みである。

### 候補地決定にむけて

建替え候補地の選定は、小児二次救急医療のみならず、中期構想で掲げた柏病院に求められる機能を果たすことができるよう、中・長期的な視点で検討する必要がある。  
 今後、左記の留意事項を踏まえ、スケジュールに遅れをきたさぬよう、市で判断するものとする。